



高齢者が働くことに生きがいを感じ、地域社会に貢献する

VOL. 13

平成30年1月1日号

NARITA

# 銀のたまご



写真上段左より 岡野理事 齊藤理事 佐野理事 茂野理事 諏訪理事 岩館監事 加瀬林監事  
下段左より 野澤理事 牧野理事 吉田副理事長 下村理事長 宮脇理事 川崎理事 後喜多理事



特集

成田市シルバー人材センターとは

「今年もよろしくお願ひします」

公益社団法人 成田市シルバー人材センター

# 新年のごあいさつ



理事長  
下村 精哉

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかで、晴れやかな新年をお迎えのことと心からお祝い申し上げます。

また、成田市及び成田市民の皆様には旧年中賜りましたご理解、ご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、成田市観光キャラクターう



成田市長  
小泉 一成

年頭にあたりまして、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、会員の皆さまには、旧年中に賜りました市政へのご理解とご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。特に「ゆるキャラグランプリ2017」ではうなりくんへの投票に多大なるご協力をいただき、優勝

なりくんが昨年の「ゆるキャラグランプリ2017」で見事優勝されたことについて、心よりお喜び申し上げます。

さて、我が国においては、少子高齢化が進み、長期の人口減少過程に入っております。しかしながら、元気で豊かな経験と知恵を持っている「アクティブシニア」と呼ばれる高齢者、いわゆる人財は大勢おられます。これらの人財の活用を図るため、政府も「人生百年時代の構想会議」を立ち上げております。

することができましたことに対し重ねて感謝申し上げます。

さて、我が国は超高齢社会を迎え、今後も人口の減少が見込まれており、このような時勢において社会の活力を維持し、持続的な成長を可能とするためには、高齢者が活躍できる社会を実現することが不可欠であります。

成田市シルバー人材センターにおかれましても、市民の多様なニーズに応じた新たな職域の拡大や会員の皆さまによる自主的・主体的な運営

このような中で、成田市シルバー人材センターは引き続き会員の拡大や新規分野における就業機会の確保を図るとともに、安全就業の徹底等に取り組んでまいります。

本年も皆様のご理解、ご支援、ご協力を賜り「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員及び役員一同、地域社会・企業に寄り添った事業展開をしていく所存です。最後に新年が皆様にとって幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

と共働・共助のもと、福祉との接点にある生きがい就労の機会を提供する機関として更なるご発展を期待する次第であります。

また、日頃のボランティア活動に對しましても、この場を借りまして感謝を申し上げます。

結びに、会員の皆さまには、今年も健康と安全に十分留意され、お仕事を続けていただくとともに、会員の皆さま、そしてご家族の皆さまのご多幸を心から祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



うなりくん優勝(昨年11月19日 三重県桑名市で)



優勝パレードに参加(昨年11月26日 花崎町で)

特集 成田市シルバー人材センターとは

「組織」 生き活き高齢者を支援します

シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、全国に設置されている公益的・公共的な非営利団体です。今回は、センターの仕組みや活動について紹介します。

60歳以上の高齢者で組織

センターでは、健康で働く意欲のある60歳以上の高齢者が、長年培ってきた知識と豊かな経験や能力を活かし、高齢者にふさわしい就業やボランティアを通じて、働く喜びと生きがいを得ています。

現在、約500名の会員が登録していて、平均年齢は72歳です。最高齢の会員は90歳で、月に4〜5回元気に就業しています。

自主・自立、共働・共助

シルバー人材センターは、会員自身が自主的に運営に参加する自立した組織で、お互いに協力し、助け合いながら、広く仕事を分かち合い楽しく一緒に働いています。

就業においては、期間を定め特定の会員に仕事が偏らないようにするなど、ローテーション就業に努めています。

働くことで生きがいづくり

シルバー事業は、高齢者が自主的に働くことを通じて地域社会の一員として、健康で生きがいのある生活を営むことを目的としています。

自分の技能を生かした仕事をする中で、多くの人から喜ばれるという経験は、本センターで働くほとんどの会員がもっており、就業は高齢者の生きがいづくりに大きな役割をはたしています。このように、会員が自らの健康状態を常に良好に保ち「生き活き働き生活する」ことで、医療費の削減にも貢献しています。

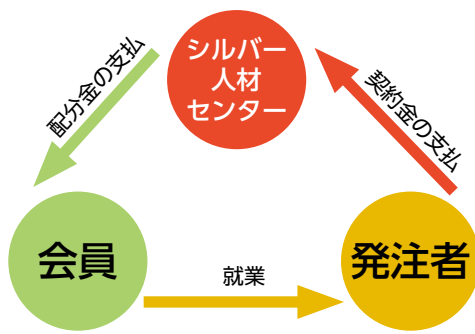
人手不足の解消

少子高齢化で労働力人口が減少する中、一般家庭や民間企業等の人手不足分野や現役世代を支える分野での就業も、シルバー事業の大きな役割となっているため、この分野の会員拡大を行っています。

沿革

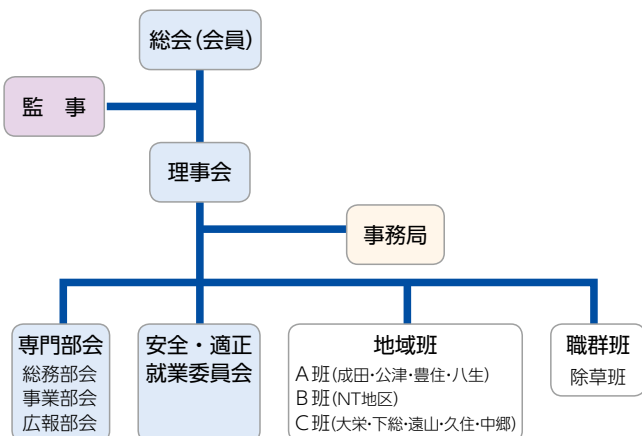
昭和50年 2月	東京都江戸川区に「高齢者事業団」誕生
昭和55年 12月	国庫補助事業の「シルバー人材センター」として全国的に事業展開され、「全国高齢者事業団・シルバー人材センター等連絡協議会」が発足
昭和61年 4月	「高齢者雇用の安定等に関する法律」施行 「社団法人全国シルバー人材センター協会」に名称変更
平成5年 4月	成田市花崎町で「社団法人成田市シルバー人材センター」設立
平成7年 7月	事務所を成田市馬橋へ移転
平成8年 10月	「千葉県シルバー人材センター連合会」設立
平成18年 9月	事務所を成田市久住中央へ移転
平成24年 4月	社団法人から公益社団法人へ移行

シルバー人材センターの仕組み



(注) センターと会員は雇用関係を持ちません。

成田市シルバー人材センター組織図



# 「事務局」 お気軽にご相談ください

## 仕事の受注や手配

シルバー人材センターのさまざまな事務的業務を行っているのが事務局です。事務所は、JR久住駅近くの久住中央地区にあり、事務局長以下6人の正規職員と4人の臨時職員が職務に当たっています。

主な業務は、仕事の受注と配分ですが、会員の配分金の計算や事業計画、センター運営に係る事務など庶務全般にわたるものや、会員の就業や安全確保、資材・用具の管理など業務全般におよぶさまざまな事務を処理しています。

## 就業紹介や相談も

会員の就業紹介や相談も、事務局の重要な仕事です。各会員の希望と能力に応じた働き方ができるよう調整したり、新たな就業先を開拓したりしています。発注された仕事の情報は、可能な限り全会員に周知し、その上で適格な会員に就業を紹介し

ます。  
また、会員の就業上の問題や悩みなども随時受け付けています。

## 担当を紹介します

事務局長 諏訪峰雄  
事務局次長 藤崎勇一  
庶務担当 係長 前田淳子  
主任主事 高橋直美

予算や決算などの会計経理に関することや補助金等の申請、事業計画の作成、職員の給与や福利厚生に関することなど行うほか、各種帳簿類の管理や会員の配分金の計算を担当しています。また、関係機関との連絡調整や普及啓発、広報等の事務も行っていきます。

## 業務(民間)担当

副主査 山田英明

民間企業や一般家庭からの仕事の受注や見積り、契約に関することや会員との連絡調整を行っています。また、安全・適正就業に関することや会員の傷害事故等の処理についても担当しています。

## 業務(公共)担当

副主査 石井健

市役所など公共機関からの仕事の

受注、見積り、契約に関することや会員との連絡調整を行っています。また、企業等へ会員を派遣する事業を担当しています。

## 受付事務・請求事務担当

曾矢清次(臨時)※入会事務  
福田あい子(臨時)

植木剪定や除草の受け付けを行っています。

## 植木班・除草班担当

出山榮(臨時)

受注した仕事の配分調整を行っています。

## 就業開拓専門員

結城眞理子(臨時)

民間企業や福祉事業所などへの就業開拓を行っています。

## 入会事務担当

曾矢清次(臨時)

入会希望者説明会や入会手続き、それらに伴う連絡調整などを行っています。

## まずはご連絡ください

センターが主にお引き受けできる仕事は、日常生活に密着した、臨時的かつ短期的な業務です。危険・有害な作業や重労働の場合はお受けできません。

会社やご家庭で「こんなことを頼みたい」というときは、どうぞお気軽にご相談ください。



〈仕事の依頼や入会に関するお問い合わせ〉

※センター事務局(36・6161)へ。

# 「職群」こんな仕事ができます

## さまざまな仕事に対応

センターでは、会員の知識や経験を生かし、皆様からのさまざまな仕事の依頼にお応えしています。お引き受けした仕事は、センターが責任を持って完了させますので、安心してお任せください。

また、会員の生きがいづくりを目的としているため、低料金で仕事をお受けしています。頼みたい仕事がありましたら、今すぐセンターへご相談ください。

## 施設管理

現在受託しているのは、公園管理(運動公園の備品管理等、駐車場の施錠、清掃)、駐輪場管理(自転車の整理、清掃)、駅のエレベーター・エスカレーターの運行管理業務、卸売市場施設管理(見回り)、マンション管理(受付)などで、資格などの必要がない簡単な施設管理業務を行っています。

## 技能分野

植木剪定、障子・網戸・襖の張り替え、大工仕事などを、民間の職人

並みの仕上がり具合でお引き受けしています。植木剪定は特に人気があり、一般家庭や企業から多くの受注をいただいています。大工仕事については庇の修理や戸袋修理といった軽微な作業を行っています。

## サービス分野

空港での外国人対応(トランジット、ファーストレーン受付等)業務や観光案内所受付業務など会員の語学力を活かした仕事のほか、子どもたちを守る通学路防犯パトロール(市委託事業)業務、家事援助(整理整頓)を行っています。運送や警備の仕事は行っていません。

## 事務的分野

公民館や体育館の受付業務や商品の伝票管理業務など、会社での事務経験を活かした仕事のほか、賞状書きや宛名書きといった会員の技能を活かした仕事も行っていきます。

## 専門技術的分野

パソコンの配線や操作方法の悩みを、電子機器に詳しい会員が親切丁寧に指導します。その他、写真撮影

(左囲み参照)の仕事も行っていきます。  
**軽作業分野**

宅地や農地などの草刈り・草取りを行う除草業務や屋内外での清掃業務を行っています。除草業務は一般家庭だけでなく企業からの依頼も多く、植木剪定と並びシルバーを代表する仕事です。民間業者が請け負わないような小面積で狭い場所の除草でもお引き受けします。清掃業務としては、駅周辺の道路清掃業務や工

業団地内の道路清掃業務のほか、企業の事務所やトイレ清掃などを行っています。イベントの後片付けや簡単な農作業の手伝いも引き受けられます。

## 〈仕事に関するお問い合わせ〉

この他にも軽微な作業等に関してはお引き受けできる場合もございますので左記にご連絡ください。

※センター業務係(担当 山田、石井) 36・6161まで

## 専門技術的分野 — 写真撮影 —



喜寿写真撮影風景

本格的な装備で写真撮影しているのは、写真班の鹿島会員です。この日は成田市から委託を受けた「喜寿記念写真贈呈事業」の仕事があり、シルバー人材センターの会議室を使用して撮影が行われました。

写真班は鹿島会員を含め現在8人で、元写真店勤務の会員も1人います。その他の会員も全員写真が趣味で、カメラなどの機材も一流品なら技術もプロ並みです。中には中学生の頃から撮り始め、写真歴は60年以上という会員もいます。普段から祭りやイベントへ写真を撮りに行ったり、撮影旅行に出掛けたりと常に腕を磨いています。また、各種写真コンテストやコンクールでは、それぞれが優秀な成績を収めています。

受託実績としては、「喜寿記念写真贈呈事業」以外では写真館の手伝い、式典の写真撮影といったところですが、運動会の記録写真や広告用写真などもお引き受けしますのでよろしくお願いいたします。

# 「地域班」ボランティアで地域に貢献

## 地区別に組織

シルバー人材センターは、地域における高齢者の就業の場として見られています。本来の姿は、会員同士が助け合い、仲良く働きながら交流を深めたり生きがいを見つけたりし、かつ地域社会にも貢献していくという目的をもった組織です。

この活動を効果的に行うために、市内14地区の会員を、職域を超えてA、B、Cの3班に分け、地域班が組



小学校の植木剪定や除草作業をする会員

織されています。それぞれの班では会員同士の横のつながりを活かしたボランティア活動やレクリエーション活動などを行っています。  
**学校清掃や防犯パトロール**  
 地域班のボランティア活動の中で、特に地域貢献として取り組んでいるのが学校清掃です。  
 各班の地区内にある小中学校に10〜30人程度の会員が向き、PTAや教師とともに除草や植木剪定作業を行うもので、センター除草班・植木班の専門会員も多数参加しています。このため、校庭の隅々まで手入れが行き届き、毎回学校から感謝の言葉が寄せられています。  
 また、犯罪が起こりにくい地域を作ろうと、成田駅周辺や三里塚地区で、地域住民と会員が協力して防犯パトロールを行っています。オレングジベストに身を包み、不審者や危険物などの巡視に当たっています。  
 この他にも、地区内で行われる福祉イベントの駐車場整理などにもボランティアとして参加し、地域の人たちに喜ばれています。

## サークル活動 仕事以外でも活躍中!

### パークゴルフ愛好会

最近手軽なスポーツとして高齢者に人気のパークゴルフ。愛好会は現在32人の会員がいて、市内の「久住パークゴルフ場」と「十余三パークゴルフ場」で定期的に大会や練習会を開催し、会員同士の交流と親睦を図っています。  
 大会には、シルバー会員やセンター職員他にセンター事業に賛同する市民も参加できますから、是非ご参加ください。特に60歳以上の方はこれを機にシルバーへどうぞ。  
**ボウリング同好会**  
 シルバー会員と事務局職員の親睦を図ろうと、昨年から活動を始めた同好会で、毎月1回、練習を兼ねた大会を行っています。レギュラーメンバーは15人ですが、市のボウリング協会に加盟している会員が指導に当たっています。  
 会員のほとんどがボウリングブームの体験者であって、フォームもそこそこの人が多くシルバー世代にピッタリ。中にはボウリング教室に参加して腕を磨く人やマイボール・マイシューズを揃える人もいるなど、増々盛り上がっています。



現存する筑波海軍航空隊司令部庁舎前で(10月3日)

### N S C 旅行会

自分たちで面白い企画旅行をやってみようと、旅好きの会員と事務局職員で立ち上げた旅行サークルです。第1回は、昨年10月3日に茨城中部をバスで巡る「北関東小さな旅の歴史とグルメの穴場ツアー」を開催、キャンセル待ちが出るほどの人気となりました。旅行会では第2回をどうするか検討中とのことですが、次回もみんなが驚くような「穴場」を探しているようです。

# 「募集」 会員になりませんか

## まずは入会説明会に

シルバー人材センターでは、常時会員を募集しています。長年の職業生活から引退したけれど、健康維持や生きがいづくりのために働きたいという希望を持ち、それにふさわしい意欲と体力をお持ちの方は、ぜひ入会をご検討ください。

- 入会資格は次の通りです。
- 原則として60歳以上の人
- 成田市内に居住されている人



三里塚地区で行われた入会希望者説明会

○理念に賛同され、お互いに協力し、助け合い、いたわりあつて就業できる人

○雇用、または自営にかかわらず、就業していない人

入会説明会は、毎月最終水曜日の午前10時からセンター(久住中央)で開催しています。ただし、祝日や年末は日程が変わる場合がありますので、事務局にお問い合わせください。また、センター以外の場所で、年に2、3回の特別入会希望者説明会を開催していますので「広報なりた」などでご確認ください。

## 面談会後に入会手続き

入会説明会後に、入会申し込みをされた方を対象に、毎月第2水曜日の午前9時30分からセンターにおいて面談会を行います。一人15分程度で就業の希望などについてお話を伺います。この後理事会の承認を得て正式に会員登録されます。

※くわしくはセンター事務局(☎36・6161)へ。住所〒286・0819成田市久住中央1丁目12番3。

## 新入会員紹介



海保あさ子さん

海保さんは昨年10月に入会し、現在JR成田駅前の観光案内所に就業しています。学生のときから英語が好きで、就職も英語力を生かせる旅行会社を選んだという経歴があり、今はスペイン語の勉強もされているとても意欲的な女性です。

案内所の仕事は、外国人を含む観光客にイベントや交通、施設などの案内をすることで、現在英語の堪能な女性会員4人がシルバー人材センターから派遣されています。ここを訪れるお客は1日約50人、イベントがあるときは200人を超えるようですが、やはり成田山へ行く道を聞かれることが一番多いとのこと。また、国際観光都市である成田には多くの見どころがあるため、パンフレットやバスの時刻表の種類も多く、覚えるのに時間が掛かるようです。仕事について伺うと「今はインターネットなどで情報は得られます

が、直接観光客と話し、その人に一番合った観光案内ができるのが案内所の魅力。また成田に來たい、と思っただけのような、おもてなしの心でご案内しています。」と笑顔で答えてくれました。

参拝客が大勢訪れる正月は、初めての経験なのでちよつと不安があるのですが、旅行会社やホテルでの経験を生かして丁寧な案内を心がけていきたいとのことでした。

公民館で何となく手にしたシルバリーのチラシに目を止めたのが入会のきっかけ、という海保さん。案内所の仕事はまだまだ不慣れなことばかりとのことですが、再び社会に出て人と接することの喜びを改めて感じているそうです。



外国人観光客の案内をする海保さん

## わたしの趣味 —竹細工—

日暮 布二男 会員(本町)

### 世界にひとつだけの作品を作るのが夢

定年後に地域情報紙の教室紹介コーナーで目にしたのが、竹細工を始めたきっかけでした。教室では東町の八木先生から、材料になる竹の切り出し方や乾燥の方法などについても教えていただきました。作品作りで大事なことはデザインに合わせ竹ヒゴを作ることです。この竹ヒゴを編み上げるのが作品作り



三つ編みのバッグ

りの中で最も好きな工程で、シルバーでの仕事の無い日は夢中になって編み上げます。バッグだと3日か4日で編んでしまいます。

竹細工の魅力は、材料

を作るところから完成まで全て自分の手で行うところです。完成した作品は、妻や嫁さんにあげたり親戚に感謝の気持ちを込めてあげたりしています。竹細工を始めて13



バッグの編み上げ作業

年、今は「成田竹工芸保存会」の会長として、公民館まつりやギャラリーでの展示に合わせ、日々作品作りに頑張っています。今後もいろいろなデザインに挑戦し世界にひとつだけの作品を作るのが夢です。

こうして第二の人生を有意義に過ごせているのは、竹細工という素敵な趣味に出会えたお蔭だと思えます。

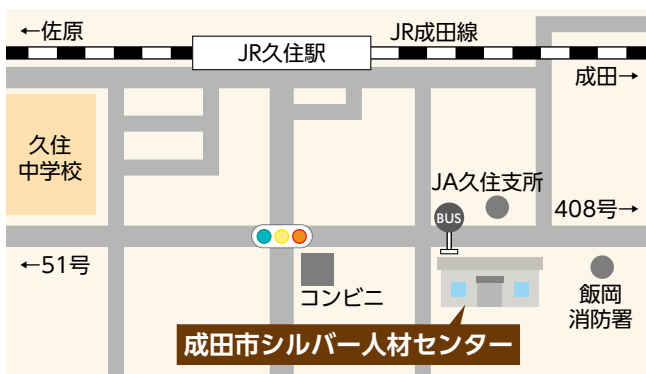
## 事業実施状況報告

上半期(4月～9月)		平成28年度	平成29年度
会員数	男	414人	419人
	女	118人	108人
	合計	532人	527人
就業実人員		445人	447人
就業率		83.6%	84.8%
受託件数	公共機関	279件	295件
	民間企業	500件	492件
	一般家庭	1,122件	1,151件
	合計	1,901件	1,938件
契約金額		123,394千円	123,055千円

### 契約金額と会員数はほぼ横ばい

上半期(4月から9月まで)を昨年と比較すると会員数は全体で2名の減、特に女性会員は全体の20.5%と少なく、今後、介護分野など女性を必要とする職種の就業開拓をするうえでの課題となっています。契約金額は339,340円の減になっていますが、全体的にほぼ横ばいの状態です。

除草作業や植木の剪定の受注が非常に多く、受託件数全体の56%を占めており、特に梅雨明けからお盆にかけての繁忙期は1～2カ月待ちの状態になりました。



編集・発行 公益社団法人 成田市シルバー人材センター 広報部会

〒286-0819 成田市久住中央1丁目12番地3

TEL 0476-36-6161 FAX 0476-36-6711

http://www.sjc.ne.jp/narita/

E-mail: narita@sjc.ne.jp

〈受付時間〉

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

(土日・祝日、年末年始除く)



## 編集後記

今回はシルバー人材センターを知っていただくために特集を組んでみました。そんな訳で、表紙の集合写真は、理事紹介のページとご理解ください。ところで皆さんは「シルバー」の語源をご存知ですか。調べてみると、日本国有鉄道で、高齢者や障害者などの優先席をシルバーグレーの布で作られ、これを「シルバーシート」と表記したところから、高齢者＝シルバーというイメージが定着したとのこと。高齢者の白髪と無関係とは意外でした。では「銀のたまご」の語源は？。我々広報部がいろいろ考えた末のネーミングですので、興味のある方は調べてみてください。

